

第117号

発行：議会改革等に関する
調査特別委員会

〒901-2501

沖縄県浦添市安波茶1-1-1

TEL(098)851-5057

FAX(098)877-4826

うらそえ市議会だより



ヤクルトスワローズ球団歓迎式の様子

第187回
定例会の概要
及び経過

第187回定例会は、12月3日招集、12月21日閉会の19日間の会期で開かれました。

初日は、人権擁護委員候補者の推薦について、平成30年度浦添市一般会計・特別会計の各補正予算、条例議案など計21件の議案について提案理由が説明されました。その後、議員提出議案第9号及び第10号が上程され、全会一致で原案のとおり可決されました。

12月7日から始まった一般質問では、26人の議員が福祉、教育、西海岸開発等市政全般に及び行政課題について活発な議論が展開されました。

12月14日は、財政援助団体（てだこホール指定管理共同企業体）監査結果報告書についての緊急質問が提出され、質問を行いました。その後、市長提出議案の審議に入り、人権擁護委員候補者の推薦について全会一致で適任と決定、平成30年度一般会計補正予算（第3号）は賛成少数で否決され、その他の議案については本会議で質疑を行っ

た後、各常任委員会に付託されました。

12月21日の最終日は、議案第76号平成30年度浦添市一般会計補正予算（第3号）の再議が提出され、否決の決定が取り消されました。その後改めて議案第76号が審議され、出席議員の全会一致で原案のとおり可決されました。その後、各常任委員会へ付託した議案について各委員長からの報告後、質疑、討論、採決を行いました。その結果、議案第77号から議案第89号を原案可決、議案第90号から議案第93号は可決されました。平成29年度決算認定議案については、委員長報告後に質疑、討論、採決を行い、一般会計、5特別事業会計を認定、水道事業会計については原案可決及び認定されました。その後議員提出議案第11号及び第12号が上程され、賛成多数で原案のとおり可決されました。最後に各常任委員会からの請願・陳情の閉会中継統審査の申し出を承認し、第187回定例会を閉会しました。

12月定例会審議日程

●11月	26日(月) 第187回定例会告示
●12月	29日(木) 議会運営委員会
3日(月)	開会 諮問第1号〜第3号 議案第76号〜第93号上程 (説明聴取) 議員提出議案第9号及び第10号追加上程(説明聴取、表決) 全員協議会(散会後) 議会運営委員会 4日(火) 6日(木) 休会(議案研究)
7日(金)	本会議 一般質問(5人)
10日(月)	本会議 一般質問(5人)
11日(火)	本会議 一般質問(5人)
12日(水)	本会議 一般質問(5人)
13日(木)	本会議 一般質問(5人)
14日(金)	本会議 一般質問(1人) 緊急質問 諮問第1号〜第3号、議案第76号(質疑、表決) 議案第77号〜第93号(質疑、所管委員会付託) 議会運営委員会(休憩中)
17日(月)	休会 総務委員会・福祉委員会 文教委員会・建設委員会
18日(火)	休会 議会運営委員会
19日(水)	休会 議会改革等に関する調査特別委員会 西海岸開発特別委員会 20日(木) 休会(事務整理日)
21日(金)	本会議 議案第76号の再議の件(説明聴取、表決) 議案第76号(質疑、表決) 議案第77号〜第93号(委員長報告、表決) 議案第57号〜議案第63号(委員長報告、表決) 議員提出議案第11号及び第12号追加上程(説明聴取、表決) 閉会中継統審査の申し出 閉会



一般質問

**12月定例会の一般質問につきましては、紙面の都合上、
主な内容を要約して掲載しております。**

なお、詳しい内容は会議録をご覧になるか、議会ホームページで会議録検索システムをご覧ください。



※各議員の原稿枠内にある QR コードにつきましては、掲載された一般質問を行った際の録画映像へアクセスするためのものです。スマートフォン・タブレット端末等で視聴ができますので、ご覧ください。

古波蔵 保尚



- 9月議会で空転した責任について
- 除草剤被害について
- 少年野球支援について
- 仲間3号線整備状況について
- あかひらステーション前、市役所入口の滑りどめ舗装について



←録画映像は
←こちらから

議員 9月議会で私の質問に対する答弁で空転させた責任について伺う。

市長 議会が空転して、結果、円滑な議事進行に支障を生じさせ反省をしている。

議員 ANA SPORT SPARK浦添等への除草剤散布被害について伺う。

教育部長 ANA SPORTS PARK浦添における一連の除草剤散布問題につき、これを所管する教育委員会教育部として、認識の甘さから事態を招き、市民、利用者、議員各位に対し、大変御迷惑をかけ心からおわび申し上げます。

議員 少年野球への支援策について伺う。

教育部長 少年野球など、小中学生及び高校生の浦添市民球場利用料金は一般料金の2分の1としている。

議員御質問の少年野球の支援については、今後も各団

体及び関係者の御意見等を伺い、子供たちにどのような支援が必要なのか、考えたい。

議員 市道仲間3号線整備の進捗状況を伺う。

都市建設部長 3号線の歩道整備は、公園区域内での整備となることから現在公園管理者と整備に向けて調整中である。

議員 市役所入り口への滑り止め舗装について伺う。

都市建設部長 中部土木事務所へ確認したところ、今年の12月上旬にあかひらステーション前付近、浦添市役所出入り口付近の合計60メートル部分について、滑り止め舗装を施工すると報告を受け、市役所入り口付近は、施工が完了しておりあかひらステーション前付近につきましては継続して施工が行われるものと思われる。

濱崎 早人



- 指定管理者制度について
- 児童虐待防止推進月間の本市の活動と現況について
- 県道251号線の道路拡張整備状況と今後について
- 那覇軍港移設並び西海岸開発について



←録画映像は
←こちらから

議員 指定管理者制度について、公園の除草剤散布への本市の見解と対策について伺う。

都市建設部参事 公園の指定管理者制度につきましては、多様化する市民ニーズに、より効果的かつ効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の技術力やノウハウを幅広く活用することとで、市民サービスの向上と経費の節減等を図ることを目的とし、平成18年度より実施。除草剤の散布については、除草作業にかかる仕様書等の内容について指定管理者への適切な指導、監督管理ができていなかったことを深く反省しているところである。

教育部長 今回指定管理者から浦添運動公園内の植栽維持管理業務委託を受けた造園業者の単独判断とはいえ、除草剤散布が行われて

しまい、指定管理者を指導監督する所管部署として大いに反省している。今後は浦添運動公園管理に係る管理マニュアルを全庁的な共通意識をもって作成し、公園管理に取り組んでいく。

議員 本市において児童虐待の被害に遭った児童の相談件数は何件か伺う。

こども未来部長 平成27年度合計70件、平成28年度合計62件、平成29年度合計55件。若干ではあるが減少している。

議員 児童虐待が起こる要因、課題について伺う。

こども未来部長 背景には経済的困窮、疾病や障がいを抱えている。子育ての未熟、孤立など問題が複合している。

議員 改良点について伺う。

比嘉 克政



● 西海岸について何う。
一今後どのように進めていくか

● 新知事、那覇市長との三者協議の早期実現について
● 来年夏に開業予定のサンエーパルコへの交通アクセスについて



←録画映像は
←こちらから

議員 西海岸について何う。
市長 去る2月5日以来開催されていませんでした3者会談については、11月26日に玉城新知事の表敬訪問の際に、対話による協議に向けて知事に対して、那覇港湾施設の浦添移設について、知事のしつかりとした考え方を直接伺いしたい。また早ければ12月、遅くとも年明け1月中までには実現していただきたいとの私からの問いかけに、知事からは、対話が大事だということもずっと言ってきたておりまして私を信頼してくださいとのしつかりとした返答をいただいております。市では3者会談の早期実現に向けて、ただいま日程調整を進めているところであり、引き続き、西海岸開発の早期具現化を図り、那覇市、浦添市、ひいては沖縄県の持続的発展並びに基地負担

の軽減に取り組んでまいりたい。

議員 サンエーパルコへの交通アクセスについて何う。
企画部長 牧港補給地区キヤンプ・キンザーについて、海兵隊、太平洋基地司令官は合同委員会宛て、覚書第4199号の規定に基づく決定事項として、申請者、浦添市長が緊急医療、消火活動のため、牧港補給地区内施設の一部へ限定された人道的立ち入りを行うことについて、2017年から2022年までを期限として、浦添市の緊急車両による限定的な人道的立ち入りのための協定書を締結している。牧港補給地区内道路の共同使用につきましては、基地の運用上の観点から基地内道路の共同使用は非常に困難と認識している。

又吉 正信



● モノレール駅周辺における土地区画整理事業の取り組みについて
● 創業者定着支援事業について



←録画映像は
←こちらから

議員 3カ所の駅周辺開発の進捗状況について何う。
都市建設部参事 経塚駅周辺では南第一土地区画整理事業を行っており、平成29年度末時点の事業費ベースで73・6%面整備率62%となっている。前田駅周辺では事業費ベース2・8%面整備率は次年度からの着手を予定している。てだこ浦西駅周辺では組合施行でてだこ浦西駅周辺土地区画整理事業を行っており、事業費ベースで31・3%面整備率1・4%となっている。

力事業の進捗が図れるように努めたい。

議員 創業者定着支援事業について何う。
市長 本市では平成28年度より一括交付金を活用し、創業者定着支援事業を実施している。事業の概要は市内における雇用及び就労機会の創出のため創業を希望する予定者や創業間もない方々に対するセミナー、コンテスト等の実施と選定した事業者の市内での事業継続、定着を支援するとともに支援体制を構築する事業となっている。経営コンサルタント等の専門家が創業への心構えや事業計画及び資金調達のポイントなど、個別の経営課題に対し支援を行う。

都市建設部参事 国等からの補助金等について、市からの要望額に満たない場合も事業執行に必要な額の確保には市単独費等も含め、関係部署と調整を図り、極

松下 美智子



● 母子・父子医療費助成事業の現物給付実現について
● 高齢者肺炎球菌ワクチンについて
● 市役所各課直通ダイヤルについて
● 仲西小プール老朽化による危険箇所の改修について



←録画映像は
←こちらから

議員 母子及び父子家庭等医療費助成事業の現在の状況と、現物給付実現への取り組みについて何う。
こども未来部長 平成29年度より受給資格証を提示の上、自己負担額を支払い、一部負担金を除いた額が振り込まれる自動償還払いが導入されている。現物給付実現への取り組みとしては、国、県へ要望を行いながら検討していく。

歳の方を対象とし実施予定。個別に通知して受診を勧奨するコールリコールをぜひ導入していただきたい。

福祉健康部長 提案について早急に取り組みたい。

議員 市役所各課直通ダイヤル導入状況について何う。
財務部長 御提案の各課直通電話は、不具合等の検証も終え、平成31年2月までに全ての設置が完了予定。設置完了後は周知を図り、市民サービスの向上に取り組んでいきたい。

議員 平成29年度より自動償還払いになり負担は軽減されると思う。しかし、ひとり親にこそ現物給付、ぜひ実現させていきたい。公明党としても、国、県にしっかりとつなげていきたい。

議員 肺炎予防の高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種の取り組みについて何う。
福祉健康部長 65歳から5歳刻みで約4千円の助成を行っている。次年度から65

教育部長 築38年が経過しており、去る10月学校からプール底面の塗装はがれやラインが見えにくい等の、改善を求める要望を受けた次年度のプール授業に間に合うよう取り組んでいく。

インターネットで会議録の検索ができます。 アドレス『<http://www.kaigiroku.net/kensaku/urasoe/urasoe.html>』

金城 大輔



- 海浜公園の早期の駐車場整備について
- 市道牧港港川線の道路の整備状況について
- 教育旅行民泊の状況について
- 開発行為に関する業務について



←録画映像は
←こちらから

議員 海浜公園整備について

来年の早い時期で暫定的な駐車場として利用できたらいいと思うがスケジュールはいかがか何う。

都市建設部参事 できるだけ早い時期に利用できるように努めていきたいと考えている。

議員 市道牧港港川線の道路の整備状況について何う。

都市建設部長 早期の事業化が図られるよう取り組んでいきたいと考えている。

また、県営住宅前の路面の補修や区画線の引き直し等については年度内に実施する計画で進めている。

議員 教育旅行民泊の状況について何う。

市長 現在の状況として、市外NPO法人と連携し活動している個人の方が10月2日、22日に合計41人の修学旅行生の民泊受け入れが市内であったと伺っている。

内容はカーミージー清掃活動や各家庭での沖縄料理体験、また個別に浦添大公園やブルーシールアイスクリームなど市内施設案内があり、生徒たちは大変喜んでいました様子だったとのこと。

市においてもまずは関係者と連携しながら浦添の魅力を楽しめるような都市型の教育旅行民泊の確立を進めていきたいと考えている。

議員 開発行為に関する業務について、権限移譲した場合の意義と効果を何う。

都市建設部長 都道府県の権限に属する事務の一部を市町村が処理することが可能となっており、権限移譲後は市が許可申請を受理し直接審査するため従来の県土木事務所経由事務が削減され、事務の円滑化、業務の迅速化が図られる等の効果が考えられる。意義はあ

るものと考えている。

議員 エコアイランド教育事業の今後の取り組みを何う。

指導部長 将来的には本市での開催を検討したい。

議員 本市での開催に当たって、場所等を何う。

指導部長 カーミージーを活用した環境学習、浦添グスクでの歴史教育、浦添運動公園を活用しての防災教育をしていきたい。

議員 ハブの捕獲数と捕獲器の貸し出し状況を何う。

市民部長 平成30年度捕獲器の貸し出し台数43台、ハブ捕獲数36匹である。

議員 ハブの実態調査と土地所有者に対して何う。

市民部長 ハブの実態調査は行っていないが、注意喚起の看板を設置している。

所有者に対して、土地の適正な管理、ハブが出た場合に対策や捕獲器を貸し出し

ている。

議員 次年度でだこ祭りの10月開催について何う。

市長 おおむね3年程度継続してから最終的な判断をする必要がある。

議員 南第二地区区画整理事業のこれまでの移転補償件数や使った予算を何う。

都市建設部参事 平成29年度末まで約58億3900万円、そのうち約31億6000万円補償物件に165件補償実績である。

議員 第二地区区内で不服申し立てが発生した場合の対応を何う。

都市建設部参事 行政不服が仮にあった場合には真摯に丁寧に対応していきたい。

議員 48街区の既存の建物について何う。

都市建設部長 48街区周辺の仮換地案に向けた地権者の合意を図り代替案を示しながら、地権者の理解をいただけるように検討したい。

當間 清春



- 教育行政について
- 沢砥地区内の中頭方西海道付近のハブ対策について
- 第41回でだこまつりについて
- 浦添南第二地区土地区画整理事業について



←録画映像は
←こちらから

議員 浦添市の地酒「泡盛・寶船」を復活させ街おこしを図っては如何か。

市長 浦添市商工会議所が調査研究に取り組んでおり、今後も事業者の皆様と連携し創意工夫し取り組む。

経済観光局長 日本商工会議所の補助事業である地域力活用新事業全国展開プロジェクトを活用して「りっかりっか浦添プロジェクト」による特産商品を開発し「泡盛・寶船」の復活に取り組む。ラベルも復刻版とする指針がある。

議員 物産展の定期的な開催について

経済観光局長 結の街の自主事業で島桑フェア&物産展やてだこウォークで実施している。浦添市産業まつり企画検討委員会を立ち上げており今後は物産を含めた市産品及び企業紹介の場を設けることを検討中。

議員 モノレール駅から西地区へのバス連結の実証実験について

都市建設部長 国道58号沿線エリアはおもろまち駅とてだこ浦西駅を結ぶ仲間・伊祖・宮城・内間のルートを検討しており、他にはモノレール新駅のエリアを含め地域を巡回する前田・西原・当山・大平・沢砥のルートを考えている。

議員 家庭の経済状況にかかわらず中学生・高校生のバス通学無料化に取り組むことについて

都市建設部長 知事選で選挙公約として中学生・高校生の通学無料化があり、市も県の取り組み状況を確認しながら注視する。

教育長 子供の学業に対する権利は将来を担う貴重な人材なので、それらの個別に対して私は可能な限り支援できるようにしたい。

議員 浦添市の地酒「泡盛・寶船」の復活

● 物産展の定期的な開催

● モノレール駅から西地区へのバス運行の連結

● 中学生・高校生のバス通学無料化の取り組み

←録画映像は
←こちらから

仲里 邦彦



- 浦添市の地酒「泡盛・寶船」の復活
- 物産展の定期的な開催
- モノレール駅から西地区へのバス運行の連結
- 中学生・高校生のバス通学無料化の取り組み



←録画映像は
←こちらから

仲間 烈



- 浦添南第一地区土地区画整理事業について
- 学童クラブについて
- 前田幼稚園園舎増築について
- 保育園、幼稚園、認定こども園を利用しない就学前の児童への支援について



←録画映像は
←こちらから

議員 国際センター線の植栽計画について伺う。

都市建設部長 周辺の景観も配慮し在来樹種、海外から輸入した熱帯花木、ヤシも含め地域の意見も確認しながら樹種選定を検討していく。

議員 実施主体の市が主導して学童を法人化に向けて動く必要があると思うが市としての見解を伺う。

こども未来部長 毎年度保護者会会長がかわり、運営費の安定的な運営に不安があることから中長期的に運営計画を立てるためにも法人格の取得は必要ではないかと認識している。

議員 法人化しても補助金の制度上1法人1施設という運営上メリットのない制度だと考える。補助事業から委託事業へ検討してほしい。

こども未来部長 安定的運

営の面でも効果的で、かつ学童クラブを運営する法人側にもメリットがあると思えば、その方法も一つの選択肢として検討する。

議員 保育コンシェルジュについて伺う。

こども未来部長 児童や保護者が教育保育施設や子育て支援事業を利用できるようにサポートし子育てに関する情報提供、相談助言を行っている。

議員 前田地域内の貯水タンクの耐震について伺う。

水道部長 本市水道部管理の前田配水池及び県企業局管理の前田第二調整池は耐震を有しているが前田第一調整池は耐震性を有していない。前田第一調整池については県企業局が廃止を予定しており、配水区域への水運用については直結送水運用テストを行い廃止に向けて協議を進める。

下地 秀男



- SDGs（エスディージーズ）のその後の取り組みについて
- キャンプ・キンザーの返還される2ヘクタールの土地の活用と道路用地の確保について
- 那覇軍港の移設について



←録画映像は
←こちらから

議員 誰一人取り残さないSDGs（エスディージーズ）の、その後の取り組みについて伺う。

市長 市内事業所等とさらなる連携、協力ができるよう周知を図りながら、SDGs（エスディージーズ）が掲げる「誰一人取り残さない社会の実現」と本市が掲げる「沖縄一やさしい福祉のまち」の実現に向け取り組みでまいりたい。

議員 キャンプ・キンザーの返還される2ヘクタールの土地の有効活用と道路用地の確保について伺う。

企画部長 西洲と国道58号を結ぶことによる土地の有効利用を図ることについては、先行取得の事業目的との整合性を図る必要がある、跡地利用計画を進める中で議論されてくるべきものと考ええる。

議員 暫定であれば、道路

も可能ではないかと思うが、いかがお考えか伺う。

企画部長 総合的に内閣府、沖縄県と調整しながら、考えていきたい。

議員 那覇軍港の移設について伺う。

西海岸開発局長 玉城知事は対話も民意も重視される方であると存じており、知事としてのしっかりした考え方を直接伺いするとともに、浦添市が考える西海岸開発のあり方をしっかりと説明し、お互いが理解を深め、違いを認めつつも歩調を合わせて合意形成が図れるよう協議していけるものと考えている。

議員 米軍、防衛省はなんとやっているか伺う。

西海岸開発局長 地元の合意が図られた段階で、防衛省において、米軍とは技術的なところも協議していくと伺っている。

稲嶺 伸作



- 浦添市運動公園の運営管理
- 浦添市民体育館の運営管理
- 浦添市陸上競技場の施設管理
- まじゅんらんの施設管理
- 小中学校体育館の空調機設置
- TNRの取り組みについて



←録画映像は
←こちらから

議員 浦添運動公園の除草作業の一連の問題について原因をどう考えているか。

教育部長 所管部署が除草剤の使用を認識していなかったことや虚偽報告を受け、指定管理者及び委託業者が仕様書を遵守しなかったこと。除草剤を使用した際に近隣住民への周知を怠ったこと。委託作業に対するチェック体制が機能していなかったことが挙げられる。

議員 土壌・水質検査の結果と周辺住民の健康の影響。

教育部長 散布場所の土壌や水質検査を専門機関に行い、検査成績表をもとに有識者より人体やペットに危険性はなく安全と結論できるコメントをいただいた。

議員 再発防止対策を伺う。

教育部長 運動公園の除草作業方法や管理マニュアルを、全庁的な共通認識をも

って作成し管理に取り組む。関係者の責任を伺う。

教育部長 指定管理者から許可を得ずに除草剤の散布を行ったことを委託業者が認め、虚偽報告がお互いの信用を失墜したとし委託契約解除の報告を受けている。

議員 ネーミングライツを使用する全日空へのおわび。

市長 私、教育長、教育部長、課長ともどもに出向き経過報告と謝罪をし、今後しっかりと管理運営をやってほしいと要望をいただいた。

議員 運動公園内の美観、清掃、保全、警備など市民が気持ちよく利用できる体制について見解を伺う。

教育部長 市民は何を望み、どのような環境を求め、期待しているのかを常に意識し、管理運営を行うことが指定管理者には大事であり、担当課も同様な意識をもって取り組むべきと考える。

西銘 健



- 基地のない平和で経済的に自立する子育て、教育、福祉最優先の新しい浦添市実現を
- 仲西の急傾斜地の安全対策を
- 2月24日県民投票で経塚シテイでの期日前投票の実施を



←録画映像は
←こちらから

議員 小規模保育園を卒園する全ての子どもが保育園に入園できるようにすべきだ。

こども未来部長 小規模卒園児90人の申し込みがあり65人が内定。全員の受け入れができるよう努める。

議員 内間地域に建設予定の保育園が子どもたちに教育勸語を唱和させていたというのは事実か。過去の戦争を肯定する教育や保育があつてはならない。

こども未来部長 依頼を受け唱和したが、それ以降、一度も行つておらず、今後も行わないことを確認した。教育や保育の現場に教育勸語の唱和を取り入れることがあつてはならない。

議員 仲西の急傾斜地の安全対策を講じること。都市建設部長 斜面への雨水の流出対策をしてきた。総務部長 県に対し、急傾

斜危険区域対策工事の早期実現のお願いをしている。

議員 県民投票に合わせてサンエー経塚シテイで期日前投票を実施し、さらに投票所をふやすこと。

選挙管理委員長 県から認められ、市長部局で増設が決定された場合は、選挙管理委員会は実施に向け対応できると考えている。経塚シテイは調整済。夏頃開店されるサンエーパルコについて積極的に検討を進める。

議員 学童クラブ、幼稚園、発達障がい児支援を拡充すること。国保税の引き下げを。ベビーカー、ベビーベッド、チャイルドシートなどの無料貸出、粉ミルク、紙オムツ、ランドセルなどを支給すること。米軍にFOSなどの使用をやめさせること。軍港建設反対。公共施設で二度と除草剤を使用しないこと。

伊礼 悠記



- 県民投票、市民の権利保障を
- 公共施設に除草剤を散布するべきではない
- 認定こども園への移行について
- 当山小学校の分離新設校について
- 危険なブロック塀対策を早急に



←録画映像は
←こちらから

議員 法的根拠に基づいて県民投票の事務処理の義務を執行すべきだと強く求める。私達には投票する権利がある、この市民の声に真摯に応えて市長や議会が政治的な争いではなく、市民の権利を保障する、民主主義を保障していくという立場で、市長も県民投票には臨んでいただきたい。

議員 公立幼稚園から認定こども園へ移行することに對し、保護者の経済的負担がふえることはあつてはならず、市民の理解が得られないまま移行することを認めることはできない。保育料が引き上げとなる階層と保育料について。

こども未来部長 第4階層のひとり親・障がい者世帯以外では6400円から7800円の増、第5階層では9700円から1万1400円の増となる見込み。

議員 浦添運動公園内に、除草剤が散布されていたことが近隣住民の指摘で明らかになった。子どもたちが市民が利用する公共施設に除草剤を散布するべきではない。市の管理体制は余りにもずさんであり、危険な状況にさらした責任は重大。

教育部長 今後の対応は、基本的指針に基づいた除草作業の方法や、マニュアルを作成し再発防止に取り組む。指定管理者に対しても、チェック体制の強化を図る。

議員 当山小学校の分離新設を実現する上で、この場所では小中一貫校はやらな

教育長 現時点では当山小学校では考えていない。

議員 危険なブロック塀対策を早急に。進捗について。

教育部長 事業費を本議会補正予算に上程している。議員 ひとり親家庭支援を。

田畑 翔吾



- 教員の多忙化をなくすこと
- 返済のいらぬ給付制奨学金制度の早期実現
- 浦添市社会福祉協議会へ対する補助金の増額を行うこと
- 消費税10%への増税は中止すること



←録画映像は
←こちらから

議員 直近3カ月間における公立小中学校教職員の最長の勤務時間について

指導部長 最長勤務者は、小学校108時間、中学校159時間となっている。

議員 前回議会において教育長は「先生方の勤務体制の実態については、先生方の自覚も持たざるを得ないというふうに感じております」と答弁した。教員の長時間労働の問題は先生方が自覚を持つことで解決する

とお考えなのか。

教育長 先生方の前向きな気持ちが残業を改善するのは難しいという状況があることも先生方も自覚している。私としても先生方の前向きな気持ちをどう直していくのか。

議員 厚生労働省の過労死白書によると、過重労働防止に必要な取り組みへの回答のトップは教員の増員で

ある。日本は教員をふやすことなく授業負担だけをふやしてきた。結果、業務量はふえ続けている。ある先生の言葉である。「長時間労働が100時間を超える

と自分が生きているのか死んでいるのかさえ分からない」本市の子どもたちの命を守る責任は自治体にある。自覚をもって取り組むこと。

議員 本市社協の現時点における福祉基金と積立金の残額についてお答えを。

福祉健康部長 平成30年度福祉基金残高938万4671円。施設整備等積立金2660万7000円。

議員 毎年1000万円程度取り崩しており、1、2年後には残高がゼロになる危機的状況。社協存続に一刻の猶予もない。だからこそ補助金増額は必至であると訴えている。

銘菊 良二



●市長の政治姿勢について

●道路行政について

●福祉行政について

←録画映像は
←こちらから

議員 米軍との交渉について

市長 米軍サイドは、軍港問題については県も那覇市も納得している。県と日本政府と那覇市が合意すれば、協力するのはやぶさかでない」と答弁している。

議員 県道251号線の宜野湾市嘉数から伊祖間の工事進捗について

都市建設部長 工事の進捗率86%平成31年度完了。

議員 同区間の台風時の状況と冠水地点の安全対策について

都市建設部長 中部土木事務所立ち合いで現場確認。雨水対策として、応急的処置でグレーチングでの取水処置。今後工区ごとの工事を協議しながら進める。

議員 県道153号線伊祖5丁目地域への侵入道路について

都市建設部長 安波茶交差

点側の道路は擁壁が設置され車は通行できない。伊祖交差点側の道路は交差点に隣接しており、車は通行できないがスロープを設置して人は通れる。伊祖5丁目3番4番付近の住民の車で移動は県道251号線から出入りできる側道設置。

議員 高齢者対策について

福祉健康部長 浦添市の高齢化率は、平成30年10月末現在18・9%、国県と比べて低い。しかし、団塊世代が75歳以上となる2025年には22・9%の超高齢社会となる見込み。

議員 サービス付き高齢者向け住宅について

福祉健康部長 高齢者の住まいの確保の法律第5条にある。

議員 認知症になった場合その施設から退去を促されることが問題。行政の対策が求められる。

大城 翼



●JIS認定ヘルプマーク導入について

●中学生の制服リサイクル活動について

●公民館と学童を併設することについて

●屋外広告物条例を制定することについて

←録画映像は
←こちらから

議員 ヘルプマークとは、義足や人工関節を利用して

いる方、内部障がいや妊娠中の方、または発達障がい、精神障がいがある方等について6月定例会、9月定例会での一般質問にも取り上げたが今後の周知方法について伺う。

福祉健康部長 浦添市社会福祉協議会や当事者団体の

浦添市身体障害者福祉協会への制度開始の周知などを行っている。引き続き、多くの市民にヘルプマークのことを知ってもらうための取り組みを進めていく。

議員 中学生の制服リサイクル活動について伺う。

指導部長 教育委員会として、ましては各中学校を通して、保護者に対し中学生の制服リサイクル活動への協力を依頼している。

議員 公民館と学童を併設することについて学童クラ

ブの適切な設備、保育の質を保証するために策定される面積基準などの経過措置期間の終了に伴い、本市の学童クラブにおいても待機児童の発生が予想される。実施場所の確保や家賃、移転費の資金負担が大きいことが喫緊の課題とし、迅速な解決のためにも当局の見解を伺う。

こども未来部長 公民館の活用については、その受け皿確保のための施策の一つの選択肢として有効である

と考える。小学校からの距離や下校時の安全性、学童クラブの専有面積の確保や地域住民、自治会の理解が得られるかなど、さまざまな課題もあることから、活用可能な公民館があれば検討致する。

當間 左知子



●認定こども園について

●主食費について

●保育所の屋外遊戯場にかわる公園について

●保育士確保策について

●公立幼稚園の預かり保育について

←録画映像は
←こちらから

議員 児童福祉法第45条で定める児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第32条に、満2歳以上の幼児を入所させる保育所には、屋外遊戯場を設けることとあり、園庭がない場合は保育所の付近にある屋外遊戯場にかわるべき場所を含むとされ、近隣の公園等がその対象となっている。園庭が十分な広さでなく、屋外遊戯場にかわるべき場所として近隣の公園をあげた保育園はあるのか、また、近隣の公園を園児の遊び場所として利用している保育園はどのくらいあるのか伺う。

こども未来部長 平成30年11月30日現在の市内認可保育園等で園庭代替公園等を利用している施設は、認可保育園で7施設、地域型保育事業所(小規模保育所等)で14施設となっている。公園を保育活動の中で利用し

ているのは、認可保育園で15施設、地域型保育事業所で8施設となっている。

議員 公園に除草剤は散布されていないか伺う。

こども未来部長 除草剤が散布された公園を利用した保育園は8施設である。

議員 保育園児がかかわるところは当然保育課の担当という認識はあったか伺う。

こども未来部長 どの公園を利用して保育がなされているかという所管は保育課である。児童の安心安全な保育が実施できるよう情報収集に努め、市内保育所に正しい情報を周知していく。

議員 幼稚園を全て認定こども園に移行することで給食の対応、3歳児保育の対応を掲げているが、浦添市は全ての幼稚園の3年保育及び給食を進めようとしている。幼稚園の中でも十分対応できることである。

伊礼 研一



- 県民投票について
- 市内保育所（園）の保育参観について
- 台風時の保育所、幼稚園の迎えについて
- 経塚調理場跡地の解体工事の進捗
- ユブシが丘トンネルの早期開通を



←録画映像は
←こちらから

議員 県民投票について

企画部長 県民投票条例が

直接民主政治の理念に基づき、地方自治法第74条第1項の規定に基づき直接発案されたものであり、議会制民主主義を補完するものであること。さらに、その実施については、第252条の17の2の規定により県の条例が制定されれば、市町村にその事務を実施する義務が生ずると解されており、法の趣旨に従い県民投票事業費を補正予算として提案している。

違反となるのか伺う。
市長 判断をする上で議会の推移を見守り、最終的な判断をする。

議員 条例違反になるのかならないのかで答えを。

市長 条例違反になるのかどうかは、これからの推移を見て、最終的な判断でそういうことになると思うので、しっかりと議論を聞いた上で、私が判断するという権利まで法は否定していないと考えている。

議員 事務方の答弁を伺う。
企画部長 第252条17の2の規定により、市町村が処理することとする、とあるので、処理しなければ条例違反になると思う。

議員 副市長も企画部長と同じ認識でよいのか。
副市長 県条例でそういう取り決めなので、条例に従わない場合は、当然条例違反になるという判断である。

比嘉 武宏



- 玉城デニー新知事県政運営の見解
- キャンプ・キンザーの（跡）地利用推進法について
- 泉州市との友好都市締結30周年について
- 指定管理者による公園の除草剤散布について



←録画映像は
←こちらから

議員 玉城デニー新知事の

県政運営の見解を伺う。

市長 那覇軍港の浦添地先に新代替施設建設を推進していくと明言している。

議員 跡地推進法はどのように対応するか、区画整理の土壌調査、第五ゲート付近返還実施計画について伺う。

企画部長 公共用地の先行取得に向けた特定駐留軍用地の指定、立ち入りあつせん拠点返還地の指定、国の取り組み方針の策定、支障除去借地給付金の支給を行う。今回の返還実施計画区域予定面積は約1万7000㎡、予定は平成31年3月31日。

議員 浦添市・泉州市友好都市30周年の取り組みを伺う。
企画部長 中国泉州市から陳主席を初め19人を本市にお招きし、高いレベルで交流は入っていない。

新垣 有太



- 学童待機数について
- 学童の家賃補助を上げることに
- 米軍機飛行に伴う電波障害について
- 当山小学校過大規模解消対策について
- 地元企業優先発注の基準について



←録画映像は
←こちらから

議員 学童事業について、

現在の小学校区域別学童待機数を伺う。

こども未来部長 今年度の学童の待機数について、5月1日現在で内間小3人、当山小15人、港川小7人。

議員 2020年度以降は、児童一人当たり1・65㎡の面積基準とした場合、想定される小学校区域別の学童待機数について伺う。

こども未来部長 平成32年度以降、想定される学童待機数（あくまで仮定数）は、浦添小30人程度、神森小60人程度、内間小20人程度、前田小60人程度、宮城小60人程度、牧港小40人程度、当山小60人程度、港川小60人程度、仲西小なし、浦城小50人程度、沢岬小40人程度で合計480人程度。

議員 学童の家賃補助について、現在一括交付金等を活用して1学童あたり月額上限5万円の補助を実施しているが、国の事業メニュー（月額約25万円）を活用した場合、予算負担はどれだけ増えるか。

こども未来部長 市の負担は728万円の増額見込み。
議員 これからは保育園での待機児童問題から次は学童待機の問題へと移行してくる。目に見える形で具体的な支援をやっていたくないか。
市長 民間の施設を借りていたり、ところの家賃が大きな学童運営の重荷の一つになっているというところは十分承知している。いきなり上限25万円までは難しいかもしれないが、できる限り家賃補助の上限を上げていきたいと考えている。

議員 指導員の処遇改善や家賃補助を上げることによって全国と比べて高い利用者負担が減ることを望む。

亀川 雅裕



●当山小学校過大規模校解消について

●てだこ浦西駅の利活用について



←録画映像は
←こちらから

議員 当山小学校過大規模校解消策の分離新設校問題の現状について

教育部長 浦添市立学校適

正規模審議会において、教育委員会で作成した原案を諮問しているところであり平成30年度内では答申を受ける予定である。

議員 今後のスケジュール

教育部長 原案のとりの

答申が得られたら、候補地のどの位置が学校用地として適しているか、調査検討に入り、最終的な位置決定をする。その後、財産の取得は市長権限であるため市長に対して学校用地の取得の申し入れを行う。

議員 学校用地を確保する

中で残地の利用計画は。

教育部長 市長部局の方で

土地利用の策定をお願いしたい。

議員 残地利用計画は、企

画部が所管であると思うが、

企画部長 具体的にどの部署が、どういう計画を検討

するのかについては、白紙の状態である。

議員 この問題は平成22年

度からあり、当然行政としても改修に向けて作業を進めてきた。教育委員会も審議会を立ち上げ結論も出るというのに、白紙という答弁は間違いですよ。

市長 候補地が決まり、地

主との交渉が始まる段階で市長部局としても協力できることがあれば、やぶさかではない。

企画部長 教育委員会から

市長部局に移管されれば、きちんと対応していく。

企画部長 答申を見た上で、

その必要性を精査した上で補正予算なり、対応していきたい。当山小学校の分離新設の必要性については、教育委員会も市長部局も共通している。

真栄城 玄誠



●浦添城跡の世界遺産登録について

●内間児童センターの運営

●内間9号線改良工事

●自治会事務連絡員委託制度

●浦西周辺のまちづくり

●運動公園の指定管理について



←録画映像は
←こちらから

議員 浦添城跡の世界遺産登録について伺う。

教育部長 緻密で慎重な発

掘調査を実施し、今後も沖縄県教育庁文化財課との連携を図りながら検討したい。

議員 内間児童センターの

運営を伺う。

こども未来部長 子供たち

が安全に遊べる環境を整え、情操豊かにする各種行事を行っている。

議員 内間9号線道路改良

工事の進捗状況を伺う。

都市建設部長 事業期間は

平成25年度から平成33年度までとなっている。今年度の工事は事業区間220メートル中、延長75メートルを整備している。

議員 那覇市所有の前の橋

があるが、私は、その橋についても那覇市と連携を取りながら同時に改修工事を進める事を要望したが、見解を伺う。

都市建設部長 議員の方から提案を受けて、那覇市と

協議を進めてきた。今後も協議を重ねながら、一緒に那覇市側まで整備ができるようにしていきたい。

議員 運動公園の指定管理

の不適切な業務に対する監査委員による監査は地方自治法に基づいて市長が監査委員に要請した場合と監査委員がみずから監査を実施することができ、市民に

もきちつと報告をして、議会にも報告をしていく。これが本市の監査委員の役割だと思ふ。見解を伺う。

市長 新聞紙上にも取り扱

われ市民に多くの不安を与えたので、監査を入れて議会にも市民にも報告する。

議員 浦添市に配置されて

いる監査委員事務局の機能を生かして、きちつと監査することを要望する。

下地 恵典



●西海岸開発について

●港湾計画改訂について



←録画映像は
←こちらから

議員 西海岸開発について、

9月に実施された知事選と那覇市長選挙結果の及ぼす、西海岸開発事業進捗への影響の有無について、どのように考えているのか。過去3回の3者協議では具体的に何を話し合い、何を確認し、何が確認できなかったか。3社協議で確認できなかった項目について、この間、当局は具体的にどのような取り組みをしてきたのか、これまでの経緯と現在の取り組みについて

県知事、那覇市長から「テクニカルな部分もまだある。南・北の判断についてまだできる状況ではない。」と具体的に何をしめすのか。

港湾計画改訂について那覇港長期構想検討委員会の現在の活動状況について委員会において浦添市が提案した「南側案」についてどのような議論がされている

上江洲 徹也



●聴覚障がい者が補聴器購入する際の助成について

●市立図書館とハーモニーセンターをつなぐ連絡通路の設置

●児童クラブの分離新設補助金
●浦添城跡へのトイレの設置



←録画映像は
←こちらから

議員 難聴者が補聴器購入する際の助成について伺う。

市長 障がい者手帳をお持ちの方が申請する方法と、

軽・中等度難聴児補聴器購入費助成があります。去る

12月6日難聴等困難を抱える子供たちの環境整備のためご寄付をいただいた。心

から感謝を申し上げる。

議員 きこえの問題をテーマに職員研修開催を伺う。

福祉健康部長 今年度中の開催に向けて取り組む考え。

議員 NET119の取り組みについて伺う。

消防長 NET119は、聴覚言語機能障がい者の方がスマートフォン等を活用

して、全国どこからでも音声によらない119番通報

を行うシステムです。平成30年3月閣議決定されて、

2020年度までに全国の消防本部で導入目標です。

議員 市立図書館とハーモ

ニーセンターをつなぐ連絡通路の設置について。

教育部長 連絡通路をつくることにより、図書館での

イベントをする際のスペースの確保やボランティアの方々を図書館のイベントに

かわる環境が整えられると期待される。ひいては市民協働のまちづくりへつな

がるものと思われる。

議員 児童クラブにおける分離新設をする場合、先行してクラブ当たり100万

円補助が受けられるか伺う。

こども未来部長 備品購入や施設修繕等に係る補助金

は、開所の前年度で交付が可能と県には確認している。

議員 浦添城跡へのトイレの設置について伺う。

教育部長 グスク西側の駐車場、通称三角駐車場の南

側隣接地での仮設トイレの設置について沖縄県及び文化庁と協議していく。

又吉 謙一



●市内へ体験型科学館を設置することについて

●西海岸開発について
●公園等へ除草剤を散布したことについて

●勢理客地域の地滑りについて何度も質問したがその後の状況



←録画映像は
←こちらから

議員 市内へ体験型科学館を設置する事について伺う。

教育長 進路選択時の理工系離れ、理工系学生の学力

低下が原因で理科離れが言われている。実験や観察の

時間を意図的に行い理科への関心を高め理科好きの

子供達をふやし、進路選択時に理工系に進みたいとい

う子供達を育んでいきたい。沖縄科学技術大学院大学も

ノーベル賞の輩出を意識してつくられたと聞いている。

連携も含めて頑張っていきたい。

議員 西海岸開発について伺う。

市長 又吉謙一議員が見つけている浦添西海岸の未来

と我々が目指している西海岸の未来の方向性は一致し

ている。お話を聞いて大変感銘を受けた。さすが浦添

市を代表して那覇港管理組合で活躍している議員だと

思う。今回新たに当選した玉城デニー知事と話し合い、

すばらしい沖縄の未来が開けると私は確信している。

議員 公園等へ除草剤を散布したことについて伺う。

教育部長 土壌被害については専門調査機関において

調査を依頼しその結果、安全性の確認がとれた。今後は浦添運動公園管理に係る

マニュアルを全庁的な共通認識をもって作成し、公園

管理及び再発防止に取り組んでいく。

議員 勢理客地域の地滑りについて何度も質問したがその後の状況について伺う。

総務部長 平成29年2月から本工事が開始され、平成30年6月に完了しており、

大雨や台風等で災害が発生する恐れがある場合には巡回等を実施、地滑り対策工

事箇所の完了後においては崩壊事故等の発生はない。

護得久 朝文



●神森小学校のプール改築について

●シルバー人材センター事業について

●認定こども園について
●児童保育の支援強化について
●たてまつりについて
●西海岸開発について



←録画映像は
←こちらから

議員 神森小学校プール改築の進捗状況、児童保育との併設予定はいつか。

教育部長 次年度実施設計

平成でいくと32年度本工事、プールの併用開始が平成33

年4月からの目標を立てている。

議員 いろんな場所で活躍されているシルバー人材センターの方々を見かけます

人材センター事業とは。

経済観光局長 豊富な経験と熟練の技術を持つ高齢者が現役で活躍できる生涯現

役社会の実現に向け市としても引き続き当センターを支援していく。

議員 認定こども園について浦添市で頑張っている法人のほうから、認定こども園に移行できるようにして

いただきたい。

こども未来部長 6年程度をかけて、段階的に移行していく予定となっており、

1月中旬会談の返答があった。

公立型のみならず、公私連携型においても丁寧に説明をし、スムーズに移行できるように取り組んでいきたい。

議員 放課後児童クラブの職員基準を緩和・容認と新聞報道があったが、浦添市としての見解は。

こども未来部長 本市の規模では児童の安心安全面から、最低でも2人以上は必要だと認識している。

議員 てだこ祭りが7月から10月に変わったということとで業者から開催に対する要望はあったか。

市民部長 変更の主な理由としては熱中症のリスク軽減であり当日は涼しく目的は果たせた。業者のほうから10月ほかの多くのイベントと重なる7月に戻してほしいという要望書が届いた。

議員 西海岸開発について1月中旬会談の返答があった。

議員 西海岸開発について1月中旬会談の返答があった。

第187回浦添市議会定例会議決結果一覧

(平成30年12月)

事件番号	事 件 名	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について(手登根 仁美)	適 任
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について(宮里 時子)	適 任
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について(古波蔵 尚子)	適 任
議案第76号	平成30年度一般会計補正予算(第3号)	否 決
再 議	議案第76号平成30年度浦添市一般会計補正予算(第3号)の再議の件	先の議決を 否決する
議案第76号	平成30年度一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第77号	平成30年度浦添都市計画土地地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第78号	平成30年度浦添市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第79号	浦添市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第80号	浦添市市税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第81号	アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第82号	浦添市固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第83号	浦添市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第84号	浦添市立幼保連携型認定こども園条例	原案可決
議案第85号	浦添市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第86号	浦添市附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第87号	浦添市火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第88号	浦添市立学校設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第89号	浦添市温水プールまじゅんらんの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第90号	指定管理者の指定について(浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク)	可 決

事件番号	事 件 名	議決結果
議案第91号	指定管理者の指定について(サン・アビリティーズうらそえ)	可 決
議案第92号	指定管理者の指定について(浦添市老人福祉センター・浦添市地域福祉センター)	可 決
議案第93号	財産の取得について(当山共同調理場コンベア式食缶洗浄機)	可 決
議案第57号	平成29年度浦添市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第58号	平成29年度浦添市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第59号	平成29年度浦添都市計画土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第60号	平成29年度浦添市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第61号	平成29年度浦添市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第62号	平成29年度浦添市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第63号	平成29年度浦添市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決 及び認定
議員提出 議案第9号	米軍 F A 18戦闘攻撃機墜落事故に関する意見書	原案可決
議員提出 議案第10号	米軍 F A 18戦闘攻撃機墜落事故に関する抗議決議	原案可決
議員提出 議案第11号	那覇港浦添ふ頭地区に関する三者会談の早期実現を求める意見書	原案可決
議員提出 議案第12号	那覇港浦添ふ頭地区に関する三者会談の早期実現を求める要請決議	原案可決

議会のテレビ放送

定例会(2月または3月・6月・9月・12月に開催)

本会議の様子は、本会議開催日に沖縄ケーブルネットワーク(OCN)のテレビで収録放送を行っております。

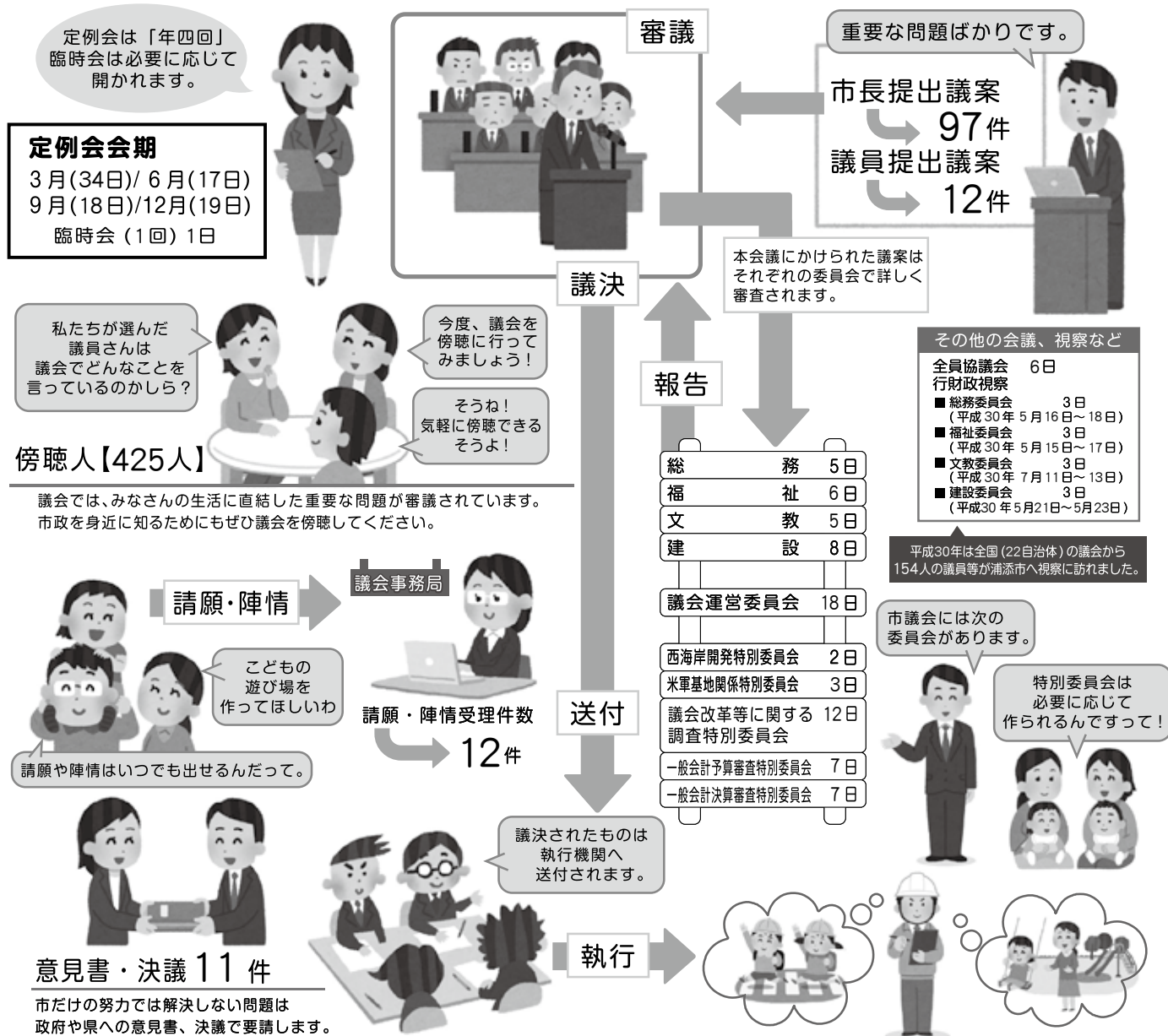


放送時間: 本会議開催日、午後6時から収録放送終了まで
放送チャンネル: 地デジ092ch(OCNチャンネル4)

※本会議の開催日は、各定例会ごとに市議会ホームページで公開する会期日程をご参照ください。

平成30年 議員活動この1年

【日数及び件数は平成30年1月から12月までの1年間の実数です】



議会日誌

平成30年		平成31年	
《12月》		《1月》	
3日	第187回定例会より12月21日まで 議会運営委員会	17日	第3回沖縄県市議会議長会事務局 局長会(南城市)
7日	一般質問より14日まで 全員協議会	23日	議会改革等に関する調査特別委員会 沖縄県中部市議会議員・事務局 職員研修会
14日	議会運営委員会	25日	定期総会(沖縄市)
17日	総務委員会・福祉委員会	30日	第169回沖縄県市議会議長会総会
18日	文教委員会・建設委員会	31日	文教委員会
19日	議会改革等に関する調査特別委員会 西海岸開発特別委員会	7日	議会改革等に関する調査特別委員会
21日	議会運営委員会	14日	全国市議会議長会第106回評議員会
25日	第188回定例会招集	18日	第188回定例会告示

※平成31年2月13日現在の日程を掲載しております。